



病児保育室

2023年8月



ほっとチュッピー
QRコード



登録申請書など、
ダウンロードできます。

ほっとチュッピーだより

大人と比べると、子どもの体の水分量は多く、乳幼児は体の80%が水分で占めています。運動しなくても汗や呼吸によって水分は失われます。なので、こまめな水分補給がとても大切です。『お外へ行く前に水分補給をする』『一度にたくさん水分取るのではなく、こまめに水分補給をすること』『ジュースでなく、お茶か水で水分補給する』など、汗をかく前に水分補給をしましょう。

【病児保育とは】

入院の必要はなく、病気やケガ等で通園・通学が困難な小学6年生までの児童が対象です。

家庭での看護が困難な場合、医院に併設した専用保育室で専任看護師と保育士が、その児童を一時的に預かる事業です。保護者の就労は問いません。

とびひの増える季節です

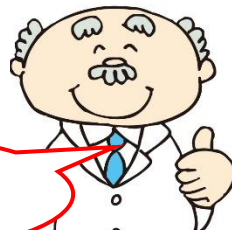
とびひは、夏の疲れが出る8月の終わりから9月ごろに多くなります。虫刺されの跡や傷に、菌が付いて発症することが多いようです。「傷がじゅくじゅくしている」「なかなか傷が治らない」というのがとびひの始まりのサイン。やがてかゆみの強い水ぼうがができます。これをかきこわした手でほかの所をかくと、そこにもとびひが広がります。

主な症状

- 皮膚に小指のつめくらの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

家庭での手当て

- じゅくじゅくした部分はガーゼで覆う。皮膚科で処方された薬があれば塗ってからガーゼで覆う。
- お風呂では湯舟につからずシャワーで洗い流して清潔を保つ。
- 湯上りはこすらず拭きとり、薬を塗る。



ガーゼはくっつかない物を使用しましょう!

出典：健康おたより文例集

医療法人 真周会 三宅内科小児科医院
病児保育室 ほっとチュッピー
総社市井手 919
☎ (0866) 93-8882 《9:00~17:30》
☎ 090-2009-5046 《7:00~19:00》

⚠️夏の三大夏風邪が流行中です⚠️

夏の三大夏風邪『プール熱・ヘルパンギーナ・手足口病』が流行しています。発熱・喉の痛み・発疹の症状が出たら、要注意です。



何ががうの？見分け方はある？



手足口病

- 口の中以外にも手足に水疱ができる
- ほとんどが38℃以下の微熱程度



ヘルパンギーナ

- 主に口の中だけ水疱ができる
- 38~40℃と高熱になることが多い

ヘルパンギーナ・手足口病は熱がなく食事を摂れるようなら登園可能です。ワクチンがない感染症なので、手洗いがいなどで予防しましょう。

プール熱

目安は、発熱・のどの痛み・結膜炎などの症状が消えて2日経過してから。

ヘルパンギーナ 手足口病

ほんにん、たいちょうよ、しだい
本人の体調が良くなり次第、外出が可能。



出典：わしお耳鼻咽喉科HP